



## 第53回日本色彩学会発表を終えて

「塗り絵の色消去が体調や気分を与える影響—塗り絵，線画作成との比較」という演題で口頭発表をさせていただきました。久々の対面の口頭発表であり、また教室がやや広めであったため少し緊張してしまいました。

発表自体はほぼ時間通りに進み、質問は2件ありました。1件は想定質問でスムーズに答えることができ。もう1件は相手の意図がややわかりにくかったことと私の回答方法が悪かったので、もしかすると質問された方は納得されていなかったかもしれません。その後お話しする機会があればもっとうまく回答できたと思います。しかし、質問のおかげでその回答をわかりやすく説明する方法をいろいろ考えたため、論文化するときはその点についてやや詳しい説明を付け加えるべきであるということに気づくことができました。

私は本来話すより聴講することが得意なので、他の方の発表を可能な限りたくさん聴くため全日程大半は会場におりました。

話は変わり、プライベートでリサイクル着物にはまっており、聴講の際には名古屋をリスペクトするために有松絞で参加しました。

たくさんの研究者と知り合いになれ有意義な活動でした。  
(教材研・昆野照美)

## 環境色彩研・ミーティング参加者募集

環境色彩研究会の行事として、環境色彩に関する話題を話し合う「WEB ミーティング」が開催され、参加者を募集しています。

環境色彩に関する話題を気楽に語り合う、カジュアルで気楽なミーティングです。

見学会や講演会と並ぶ、WEB を利用した新しい環境色彩研究会の行事として、定着させようとしている企画です。

◆話題：「緑でつなぐ街づくり」

◆話題提供者：加藤 進久 (環境色彩研究会)

◆日時：2022年10月22日(土)

14:00~16:00 (話題提供と意見交換)

◆参加費：無料

◆開催方法：ZOOM によるオンライン

◆申込方法：下記フォームからです。

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdf0uqZ9IHtz08y9EQcq279RlwOXz1jirCslkdCgm342XL4qQ/viewform?vc=0&c=0&w=1&flr=0&usp=mail\\_form\\_link](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdf0uqZ9IHtz08y9EQcq279RlwOXz1jirCslkdCgm342XL4qQ/viewform?vc=0&c=0&w=1&flr=0&usp=mail_form_link)

◆メールでお申込みいただく場合は、  
<mailto:kyoko.hagiwara@jp.sunstar.com>  
宛です。

色彩教材研究会員もご参加ください。  
(学会メールニュース No.342 から引用・永田泰弘)

## ●金色夜叉の色名から教材を作るー2

「金色夜叉の色名-4」以降には、現在にも残しておきたい色彩教材にふさわしい色彩表現をまとめておいたので、教材のパワーポイントの中に取り入れてください。

例えば、抽出された色名の一覧表を見ると、「白」に関して、白、眞白、乳白色、薄白、微白、稍白、淡白、蒼白、真珠、銀、白銅などの、明治の小説家らしい豊富な十余の表現が見られることをお伝えいたします。

更に、現在では忘れ去られようとしている、和服に関わる各種の表現、例えば、表面に細かいしぼのある絹織物の「縮緬」とか、鹿の斑紋に似た「鹿子」、ポルトガル語の「更紗」、あと練りの絹織物の「羽二重」、産地の名前がついた絹織物の「銘仙」などについて解説することなどは、日本の服飾文化を伝えるために取り込むと、幅が出て、いい教材になると思われるます。色とその時代の風俗は強く結びついているので、明治時代と今日を対比させながら、教材を構成すると良いでしょう。

自然の色は、今も明治も大きくは変わらないので、「空は瑠璃色に夕映えて」の表現は今も使え、「乾坤の白きに」は「天地の白さに」と表現できます。皆さんもトライしてみてください。  
(終り) (教材研・永田泰弘)